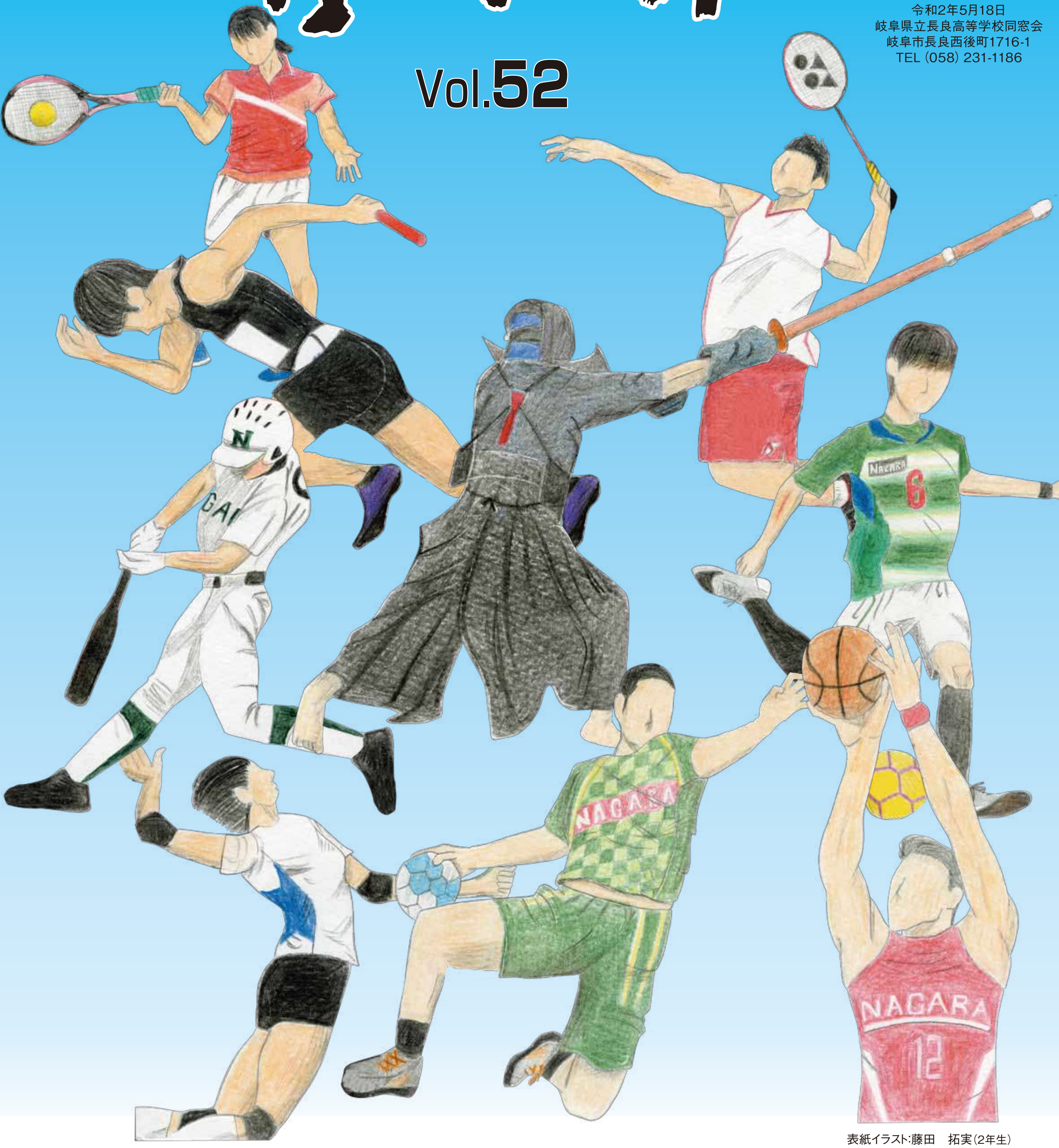
岐阜県立長良高等学校　同窓会会報

ながら

Vol.52

http://nagara-dousoukai.net

発　行
令和2年5月18日
岐阜県立長良高等学校同窓会
岐阜市長良西後町1716-1
TEL（058）231-1186



表紙イラスト:藤田　拓実（2年生）

令和2年度総会・懇親会　中止

令和2年6月21日開催予定でありました同窓会総会・懇親会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、中止とさせていただきます。なお、総会議案につきましては、令和2年5月10日常任幹事会にて承認頂きました。詳細は、同窓会ホームページでご確認下さい。

同窓会会長　澤田　栄

エティンガーの祈り

同窓会会長　澤田　栄（30期）

変革できるものは
変革する勇気を
変革できないものは
それを受け入れる勇気を
そして、
それを見分ける英知を

これは第二次大戦時、兵士へのクリスマスカードに添えられた、ドイツの神学者エティンガーの言葉です。変えるべきことを変える勇気と、自身の力では変えられないことを受け入れる勇気、そしてそれを見分けることの大切さを伝えています。新型コロナウイルスに世界が震撼する中、「どこへでも行けて、皆が集い話せる」そんな当たり前の幸せに気づかされます。

今、私たちがどのように対応するかが未来への教訓になります。現状をありのままに受け入れ、奇跡のような幸せな日々が戻ることを信じ、できることに最善を尽くしていきます。

昨年の体育祭は「長良高史上、最高の一日にしよう」という団長の宣誓に始まりました。七十年の歴史に挑戦状を叩きつけ、大いなる変革に挑んだ「令和版・応援合戦」に開拓者の気魄を感じました。私たちが愛した長良高は健在です。

長良高校サッカー部OB、立命館大学四年生の藤井智也さん（六十八期）がサンフィレッチェ広島に入団しました。在学中はキャプテンを務めチームを牽引、俊足FWとしてG1リーグ得点王に輝きました。不断の努力で夢への扉を開いた藤井選手に熱烈な声援を送りましょう。

四季折々美しい姿を見せる金華山を仰ぎ、燦燦と降り注ぐ太陽のもと、私たちは等しく三年という濃密で一心不乱の季節を過ごします。人生を重ねるごとに、その三年の輝きが増していくのは何故なのでしょう。

在学当時、学校群制度や全国共通一次テストの導入等、教育改革に翻弄されながらも私たちの心は元気でした。廊下に掲示される定期テストの結果に一喜一憂し、長良祭とは別にクラス対抗の剣道や駅伝、なんと弁論大会までありました。場面ごとにヒーローが入れ替わる、そんな激しくも凛とした青春の日々でした。現役生には人生の中で最も充実した季節を謳歌して欲しいと願います。

同窓会は時空を超えた旧友との出会いを通して新たな初心に還る場所です。ほんの少しでも感動や笑いを増やし人生に彩りを与えられる、そんな「幸せの総量の多い同窓会」を目指します。これからの母校の発展と同窓生各位のご健康、益々のご活躍を祈念申し上げます。

『長良高校の現在（いま）～文武両道を実現し、躍進する母校～』

学校長　小椋　博文

同窓生の皆様には、日頃から母校の教育活動に対し、格別の御理解・御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年六月の同窓会総会・懇親会、また、十一月の関東支部同窓会では、『長良愛』に溢れた多くの同窓生の方々にお会いし、熱い激励の言葉をいただき、意を強くしたところです。

さて、令和元年度七十一期生の進路状況については現役と既卒者を合わせ、四年生大学に延べ九二〇名が合格し、その内一四三名（内現役一二八名）が国公立大学に合格しました。昨年度、飛躍的に向上した合格者数を上回るのみならず、現役合格率も三十五・七％と過去三十年間で最高の結果となりました。この結果は、「受験は団体戦」を合言葉に、仲間同士が互いに励まし合い、最後まで諦めず頑張った七十一期生の粘りと、職員全員が一体となって実施した面接・小論文などの組織的指導や面倒見のよい個別指導の成果だと考えております。本校で学び未来への扉を開けたことに喜びと誇りを感じながら多くの卒業生が旅立っていったことに、職員一同この上ない喜びを感じるとともに、来年度以降も、未来の同窓生のために力を尽くす所存です。

また、長年力を入れております英語指導の成果も出ています。今年度の英検合格者数は、準一級四名（昨年度五名）、二級九九名（昨年度六六名）、準二級二九二名（昨年度九三名）と、飛躍的に合格者が増加しました。

部活動においては、陸上競技部、水泳部、放送部、書道部、文芸部が全国大会に、剣道部、バドミントン部、卓球部、空手道部、コーラス部、演劇部が東海（中部）大会に出場し、本校の名を全国に発信してくれました。昨年度全国大会の出場権を獲得した演劇部は、佐賀で開催された『全国高校演劇大会』において優良賞・舞台芸術賞を受賞しました。こうした数々の成果も、毎年同窓会から部活動激励費をいただき、応援をしていただいているお陰です。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も、「開拓者の気魄で勉学とスポーツにあたれ」「礼儀正しくあれ」の校訓の下、本校のさらなる充実と発展のために、全職員一丸となって教育活動に取り組んでまいりますので、同窓生の皆様の母校への引き続きの御支援と御協力をお願いいたします。

退職・転出・転入された教職員の方々

教職員

〈退職〉
斎藤昌彦（理科）長良（再任用）
山口覚士（保体）三重県立桑名
勝野恭平（音楽）多治見西
内山モヽ子（理科）

〈転出〉
小林雅彦（教頭・英語）岐山
長谷川好宏（国語）大垣北
名護健一（地公）大垣工業（再任用）
可児奈緒美（地公）文化伝承課
伊藤　潤（数学）大垣工業
高橋陸志（理科）華陽フロンティア
田中飛鳥（保体）競技スポーツ課
吉田智美（英語）大垣東
＊以下常勤講師
吉村将成（地公）加茂（新任）
山田龍之介（理科）東濃（新任）

〈転入〉
小里　靖（教頭・理科）郡上
松岡達也（国語）山県
箕浦　誠（地公）大垣北
酒井章敬（数学）山県
浅野　直（理科）県岐商
大矢尚巳（保体）華陽フロンティア
古田　緑（音楽）岐阜城北
小山佐知（英語）大垣西
宮脇　猛（地公）（新採）
髙橋賢伍（数学）（新採）
岩﨑奈央子（理科）（新採）
＊以下六名常勤講師として勤務
上原一人（地公）（新規）
臼井達哉（数学）（新規）
山川壽伯（理科）（新規）
中村大器（理科）（新規）
花村亜耶（保体）（新規）
杉山実奈（英語）（新規）

事務職員

〈転入〉
吉田智予美（補助職員）

同窓生座談会

澤田会長（30期）｜**白木　滋里**（38期）（資）白木恒助商店｜**所　浩史**（30期）株式会社菓子道

澤田●本日はパティシエの所さん、造り酒屋の白木さんにお越し頂きました。岐阜を代表する「洋と和の鉄人」お二人にお話を伺いたいと思います。お二人とも長良高時代は剣道部ですね。

所●ちょうど久世光憲先生がピカピカの新任教師で、とにかく勢いがありました。今では考えられないようなシゴキがあったりしました。そのおかげか高三の時、長野国体に岐阜県代表で出場する事ができました。

白木●私の時は山田容正先生でした。剣道は高校卒業で一区切りしたんですが、子供が中学校で剣道を始めた時に、防具を見て「やってみようかな」という気持ちになって、最近また始めました。

澤田●剣道では、「残心」という言葉を使いますが、この意味は何ですか？

所・白木●技を決めた後も気を抜かないとか、相手があっての武道ですから常に相手を敬うという意味です。剣道部ＯＢ会の名前にもなっています。

《会社の概況》

澤田●会社の概況をお話し下さい。

白木●創業が一八三五年で今年で百八十五年目、私は七代目になります。お米と米麹と水から発酵させて造る免許を持つ酒蔵が今は全国で約一，四〇〇社、岐阜県内には五十社程度です。中でも古酒を扱う店は少なく、うちは父が昭和四十六年から熟成したお酒を始めました。

澤田●素晴らしい歴史ですね。

白木●決して順風満帆というわけではありません。八年前がどん底で大変でした。どうしようと思って新幹線の中で「経営者の言葉」とかを読んで勉強したり、アイスクリームにかけるお酒とか、小さなボトルのセットとか、あと赤ちゃんが生まれたら二十歳まで自宅で熟成させるお酒とか色々開発していきました。十五年前にロンドンを皮切りに海外ＰＲを始めていたのですが、醸造酒は海外でも競争相手が少なく、徐々に良くなってきました。ＡＳＥＡＮでの夕食会に使ってもらったこともあり、今は売上げが一・五倍になりました。

所●長い年月をかけたものは味が出るけど、短い時間ではそれが出ない。他社が古酒をやろうとしても出来ないですよね。

白木●そこを上手にＰＲするのが私の仕事です。父が樽にも拘って、田崎真也さんにオーク樽を分けてもらい研究を重ね、それに「Ｓｈｉｇｅｒｉ」という私の名前を付けて販売しています。

澤田●命名はご自分で？

白木●私が家業を継ぐと決めた時に父がつけてくれました。

所●娘の名前をお酒に付けるって、お父さんの気持ちが伝わりますね。熟成したお酒を少しブレンドすれば、安いお酒でも熟成酒のような味になりませんか？

白木●主人がブレンダーなのですが、例えばちょっと酸度の薄いお酒に酸度のしっかりしたお酒を混ぜると、きゅっと味が締まります。木の新樽を使うと、バニリン（バニラ）の香りがして、バターを使った料理に合います。

所●安価なバニラエッセンスは、木くずに含まれているバニリンと言う成分や石油由来ですが、プルシックでは一キロ約十万円の天然バニラビーンズのみを使用しています。

澤田●所さんはプルシックを出してから今年九月で十年ですね。半年後に東日本大震災が発生、「こだわりの卵や牛乳が入らず、開店直後にも拘わらず休業しましたね。僕はセカンドベストのもので作るべきと言ったのですが。

所●ちょうどスタイルプラスの「東海仕事人列伝」に出て、売り上げが３～４倍になった頃でした。凄く迷ったけど、結局八日間店を閉めました。営業時間中はお客さまに事情を説明しお詫びしてチョコレートを渡しました。

白木●半年でお店を一時閉店するって相当勇気が要りますね。

所●それがプルシックという店のこだわりを印象付けたかもしれない。

澤田●所さんは、シュークリームを食べて育ったと聞きましたが。

所●実家がケーキ屋で母が私をおんぶしてシュークリームを詰めてました。卸からはじめその後三店舗になりました。父から跡を継げと東京青山のヨックモックに修行に出されたけど、その間に父の会社が倒産して帰る場所がなくなったんです。

澤田●大ショックですね。

所●ええ。一度離れてみようと北軽井沢のペンションに住込みで働きました。二年目のクリスマスに、オーナーが「所君、ケーキ作れるんだよね」と。ローストビーフを焼く釜でスポンジを焼いたりして作っていたら、「所君はケーキを作っている時が一番楽しそうだね」と言われ、その一言でパティシエに戻ることにしました。

白木●その一言が無かったらどうなっていたか

分からなかったわけですね。

所●で、同級生のつてで転職企業展に行ってみた。そこでパステルを運営しているとんかつ知多家に出会い履歴書を提出。三日後に「東京恵比寿のパステルに空きが出来たからどうだ」と連絡があったので入社しました。朝十時から夜十時まで営業して一日十万円程度の売上げしかない店でした。半年くらいで店長もチーフも辞めてしまって、それで店長兼チーフとして自分で商品開発して名前も値段も決めてやっていた。

澤田●大出世ですね。

所●無我夢中でした。三年目になめらかプリンを作り始めたけど当初はクレームだらけでした。「柔らかすぎて火が通ってないぞ」とか。会社は「とんかつ知多家」がメインだったので、注目もされず店長会にも呼ばれないし、好き勝手にやっていたら、なめらかプリンが売れ始めてどんどん売上げが伸びた。クリスマスには冷蔵庫に入りきらないくらいケーキを作って、店の前の道路に保冷車を停めて運転席で寝泊まりしましたね。月商二,六〇〇万円が最高四,六〇〇万円売れた。そうしたら本社がびっくりして、会議にも呼ばれるようになりました。

澤田●それはすごい。その頃ですか、久本雅美さんら芸能人との繋がりができたのは。

所●恵比寿という土地柄、芸能事務所がいくつかあって、雅美の他にも宮崎ますみや長谷川理恵とかが常連でした。私が恵まれていたのは、普通職人が工場を作るのは独立する時なんですが、三十代前半から会社の事業として八工場を作らせてもらった。この貴重な経験は若い人に伝えて行きたいですね。最近、息子が継ぐのかなという感じになっています。名前は、佳樹(ケーキ)です。その後娘が生まれる時に、符鈴と書いてプリンにしようと思いましたが、妻の両親に大反対されて、符鈴がダメなら苺では?と言ったら逆鱗に触れて「別れろ!」くらい怒られました。

澤田●映像が目に浮かぶようです。

所●十年前に四十九歳で独立すると言う時、この年齢で借金してまで独立すると言う私のわがままで、妻には心配と苦労をかけました。でもダメなら人を雇わずに妻と二人でやればいいやって思って。そこに戻ろうとした気持ちもありました。

白木●私は大学を卒業して国税庁の醸造試験所に三ヶ月行き、その後東京農大の研究生で一年半居たのですが、その時になんと旦那をゲットして岐阜に帰ってきました(笑)。主人は、岩手大学農学部出身で、秋田の大手メーカーから醸造試験所に研究職で出向していたのですが、向こうの会社からは取られたということになっています。主人は造り酒屋ってもっとお金持ちと思っていて「騙された、騙された」と言っています。私は借金もあるよとちゃんと伝えたのに、謙遜だと思ったみたいで。私は、お酒が好きだから継いだんです(笑)。

澤田●それは素敵なご縁でしたね。お父さんは、見守ってくれる感じですか。

白木●まぁまぁ口も出しますよ。私が本当に仕事に向き合うようになったのは、二十年前に父が癌を患って経営を任されてからです。今でも主人と父の間を取り持って、人間関係を見ながらやって行くのが私の大事な役割です。でも嫌なことがあると、がーってお酒を飲んで寝ます。

所●いっぱいお酒が傍に有っていいですね。

白木●売るほど有りますから(笑)。

《活かされる開拓者魂》

澤田●秋に「プリンの祭典」を企画しているとか。

所●全国の有名プリン店を集めてイベントをやります。「麒麟がくる、五輪がくる、プリンがくる」って感じで。また開店十周年を記念して夏には本を出版する予定です。

岐阜商工会議所は和菓子屋さんが多いので鮎菓子食べよー博とかが盛んですが、洋菓子でも岐阜を盛り上げようという企画があります。餃子と言えば宇都宮なら、「プリンと言えば岐阜」っていう風にならないかと思っています。先日玉宮の会に参加してみましたが、各々のお店がデザートにオリジナルプリンを作れば楽しいんじゃないかと思う。そのマップを作って、「プリン隊」も作ろうと思っています。

白木●プリンたいって怪しいですね。ビールに沢山入っている感じ。

所●そう。プリン体って名前を変えて欲しいんです。

澤田●以前、サガミやモスバーガーのデザートを色々プロデュースされました。

所●そうです。コメダ珈琲でもやりましたね。今、飲食店は客単価を上げたいから、玉宮全体でどこそこの店に行けばあのプリンが食べられるとなったら面白いと思うんです。

澤田●白木さんは、お酒を海に沈めていると聞きましたが。

白木●海に沈めています。海中熟成酒。

澤田●どういうきっかけで始められたのですか。

白木●うち一社じゃなくて三社でやっています。きっかけは七年くらい前、東京品川の熟成したお酒専門店がありまして、オーナーの友人が海中ワインをやっているからお酒でもやろうと音頭をとられて、そこに参加したのが最初です。静岡の社長さんは面白い方で、伊豆の海で沈めたお酒と、自分で富士山頂まで運んで、空と海の飲み比べセットにして販売しています。うちは、蔵と海底のセットですね。やっぱり夢があった方がいい。

所●面白い!(机の上のボトルを指して)これ十年物ですね?十年経たないとこの深い色が出ないのに、例えばカラメルとかで色付けて、香料で香り付けてって、今は出来てしまう。そういう偽物が認められない時代になって欲しいと思います。

白木●うちは五十年前のお酒をまだ

売らずに持っています。古酒を溜めすぎて借金が一杯になっちゃいました。

澤田●今、サントリーが山崎五十五年を、一本三〇〇万円で予約抽選販売しています。

白木●三〇〇万円！お酒（古酒）はまだまだ知られていないから、今売ったら、白木さん馬鹿じゃないかと言われてしまう（笑）。

澤田●どれもお洒落なデザインですね。

白木●これは年輪で、六角形は各務原の酒屋さんから提案してもらいました。私は結構素直なので（一同笑）、何でも「ハイハイ」って感じで決めました。商売人は、人に可愛がられてなんぼだと思いますので、何でも言うことを聞きます。一昨年の秋に上海に行った際に知り合ったワンさんという方から、日本人はもっとやりたい事をストレートに表現した方がいいと言われましたから、それも素直に受け止めて、以後出来るだけ素直に言いたい事を言うようにしています。銀行にも「もっと金利下げて」ってお願いしたら、案外下げて貰えました（笑）、言ってみるもんですね。

《職人としてのこだわり》

澤田●働き方改革が言われていますが、なんか頑張ることがいけないような風潮ですよね。

所●基本的には仕事があって、プライベートが成立っているのだけれど、主張が多くなっていて。生産性が上がっていけばいいけれども。

澤田●所さんのお店は火水木とお休みですね。

所●今は週三日休みにしています。木曜日に仕込みをやって、その余力で金曜から月曜までお店をやっています。火水木には、自分しか出来ない仕事をしていますから、私自身は殆ど休んでいません。恩返しでは無いけれども、色々なところに教えに行っています。パステルにいた時なら何百人という部下がいて教えることが出来ましたが、今更人を雇ってという訳にはいかないので、他の企業に行って若い方に経験を伝えています。商品開発代程度は頂きますが、全然他人が思う程は貰わないでやっています。色々な経営者に会えることは刺激になります。

澤田●十年前に作った理念を今でも大切にしている。

所●そうですね。心を高めていかないとおいしいものは作れません。学校給食を変えたいと思っています。同級生の大塚君が大病を無添加物の食餌療法で治してしまったのがきっかけなんですが、給食には添加物が沢山入っているし、小麦アレルギーも問題で食べられない子供が結構います。無添加でグルテンフリーにすると味が落ちるという常識を打ち破り、完全無添加でかつ美味しい「食」を創っていきたいと思っています。世の中マーケットインで商売やっている方が多いけれど、私はプロダクトアウトだと思っています。

白木●最近までは、揖斐や滋賀県のお米を使っていましたが、地元の三輪北地区のお米を使うようになりました。フランスは産地に拘りますし、ワンさんのアドバイスも有って、三輪北に地元産の酒米を使いたいとお願いしたら受け入れてもらえて、今では自分で田植え機に乗ってお米作りをしています。来年からは三輪北産一〇〇％になります。

澤田●創業からの経営理念はありますか。

白木●実は、最近初めて経営理念を作りました。「私達はお客様を大切にし、自らを大切にし、お互いを大切にし、地域を大切にしながら、強く優しい企業を目指し、明るく前向きに進みます」というものです。男性は主人ともう一人だけで、あとは女性ばかりの職場なので、女性ならではの優しさと、子供や家庭を守る強さを大事にしていきたいと思っています。

澤田●素敵な理念だと思います。お酒は食事を引き立て、幸せを増やすものですよね。

白木●働いている方が幸せを感じることが経営者にとっての幸せだと強く感じるようになってきました。

《在校生に一言》

澤田●最後に在校生の皆さんに一言お願いします。

白木●剣道を一生懸命やってあまり勉強はしませんでした。でもすごく楽しかった。自分の気持ちに正直に明るく前向きに生きて下さい。あと、二十歳になったらお酒を飲んでくださいね！（一同笑）

所●色々な事にチャレンジして欲しい。生きるという事は、自分探しのような気がします。勉強や部活動をするのも、友達と遊ぶのもケンカをするのも、結局自分が何に感動するのか、どういうことにやりがいを感じるのかを探すためのような気がします。だから色々な事をして欲しい。未だに私も自分を見つけられていない気がしますが。

澤田●缶コーヒーのコマーシャルで、「世界は誰かの仕事でできている」というのがありました。誰かの頑張りに触れて感動し「自分ももっと頑張ろう」と勇気をもらう。情熱の連鎖のようなものを表現していた。同窓会に出ても、仲間の頑張りが自分への励みになったりします。

所●同級生だと、上下が無いじゃないですか、昔のままで。肩書きで上下を決めない、対等に話せる。そんな世の中になって欲しいと思います。例えば母親が子供を連れて工事現場の横を通った時に、「勉強しないとああなっちゃうよ」という親と、「ああいう人がいるから私達が生活できるのよ」と言う親と、どちらが多くなるかでこの国が変わってくると思います。

澤田●そんな気持ちを同窓会で共有できると良いですね。本日はお忙しい中、有難うございました。

恩師からの熱い思い出

長良高校に五年間勤務できたことを感謝しています

奥田　潔

　私の部屋には、四十一期生の今は亡き教え子から送られてきたアメリカHoughton　AcademyのChristmas　cardとナイアガラの滝で撮った彼女の写真が飾ってあります。Christmas　cardには「来年もいい年でありますように、いつまでもいい先生でいてください。」と書いてあります。これが彼女の最後のmessageとなりました。私は人生の逆境に立たされた時、「私はいい先生であったか」と自省しています。二十一歳で亡くなった彼女のことを思いやるとき、人生や命は朝露のようにはかなく、我々の命は天から授かったものと思っています。

　長良高校では「植物病理を教えていただいた私の師、橋岡先生の意志を継ぐ生物の授業が実践できたか」と思っています。

　私は、三年七組の担任でした。当時、第二次ベビーブームの時で大学入試は困難を極めました。私は高校、大学に於いて、中国文学をやるか、生物をやっていこうか迷っていた時がありました。結局生物を選び高校理科免許を取得し教員となりました。文系の七組の皆さんのことはよく理解できたと思います。皆さんとcommunicationが出来た時は卒業となりました。皆さんを送り出したとき涙が止まらない程充実した人生でした。その後、一年七組、二年五組の担任になりました。長良高校では、「生徒と先生の間communicationがうまくいっていること」が伝統です。

　私は今も高校で生物を教えていますが、二十一歳の若さで天国へ逝ってしまった彼女の最後の言葉「いつまでもいい先生でいてください。」を自分自身に今もよく言い聞かせています。

　長良高校のさらなる発展と同窓会員の皆様のご活躍を祈念します。

生徒達を信じ

久保　広男

　昭和六十年四月、思いもしなかった母校の教壇に立てる事になった時は、身の引き締まる思いでした。これも「母校への恩返し」と思い、職務に全力を尽くしたつもりです。

　当時校舎の改築時で天井の高い風格のある建物が解体される姿に寂しさを禁じ得ませんでした。

　赴任してまず任命されたのは、応援団係でした。経験のない仕事でしたがマネージャー達が全てを取り仕切ってくれるので安心でした。しかし、野球部が夏の県大会を勝ち進んでベスト8となり甲子園が見えてきた時、喜びとともに応援団編成と宿舎の手配等に不安一杯でしたが、これも生徒達が「大丈夫です私達が先輩たちと連携し全てやりますから」と、ひそかに準備を進めてくれて心強く思いました。

　また、将来の職業選択についても生徒自身が明確な目標を持つ者が多く、その為に一年生の時から仲間を組んで進むべき大学を決めて、普段の勉強の他に「難問集」に取り組んでいる姿に驚きました。ともすると進路指導において、よく国公立大学合格者数を優先させ、時には受験大学の学科目まで変更を求めることもあったが、私は進路は保護者と生徒自身が決めることで、自由に選択させました。その結果想像以上の成果をあげた生徒も多くありました。

　学校行事では、制服で現地に赴くスキー研修や夜十時頃までの画一的な授業を行った浜名湖学習合宿が思い出されますが、その意義と在り方について疑問を持ちながら、改革を実現することができなかったことが今も心残りです。

　八年間の勤務で転勤を余儀なくされましたが、生徒達の力強い「開拓者の精神」が生き続けていることに安堵しつつ、同窓会員と長良高校のさらなる発展を祈念します。

一番の思い出は文化祭の展示

太田　郁

　長良高校は校歌の歌詞のように、金華山、百々が峰、長良川が近く、素晴らしい環境でした。校舎のあった場所は古代に長良廃寺があったとかで校舎建て替えの際（ひどい騒音でした）は当時の瓦が出土し、今の長良公園（昔の岐阜大学教育学部）を整備する前に発掘した際には土岐氏の屋敷跡が発掘され興味をそそられました。

　一番思い出に残っているのは、三年九組の文化祭の展示です。フランス革命二百年の年だったのでその展示でしたが、ほれぼれする出来映えで私の生涯の思い出になりました。ただ、夏休みの補習をサボって展示用の絵を描いている生徒がいたりして、受験はどうなるのかと不安にかられたこともあります。でも、文化祭や体育祭に一生懸命に取り組み、しっかり楽しみながら受験勉強も頑張るというのが長良高生なのです。

　また、新聞部顧問として、創立四十周年記念号を作るために昔の新聞を調べた結果、全国で活躍していた部も多く、昔から文武両道で部活動も勉強も両立していた生徒が多かったということもよく解りました。

　長良高校から転勤して二十七年。その間に五回の手術を体験しましたが、今はごく普通に日常生活を送っています。退職すれば、暇になるかと思いましたが、なにかと忙しい毎日です。毎月、近所の高齢者（平均十五人くらい）と手作りランチ（主に私がランチを作る人）を食べ、健康についての話を聞いたり、体操をしたりして楽しむという会も夫とともに主催しています。

　素晴らしい校風の長良高校のさらなる発展を祈念するとともに、同窓生のみなさんのご健康とご活躍をお祈りしております。

同窓生だより

躓く石も縁の端

村橋　喜代久（41期）

大きな賭けであった長良高校の受験、誰もが驚いた合格発表を思い出す。部活動の仲間からの誘い、恩師お二人の薦めとさらには母親の母校という「縁」を感じ受験をしたと記憶しております。背伸びをして入学したため当初は部活動と勉学の両立に躓きましたが、文武両道の校風と顧問であった高橋幸平先生をはじめ諸先生方のご指導により無事三年間を過ごすことができました。また進学にあたり苦慮している際には柔道部顧問の伊藤誠剛先生に柔道整復師という職業についてご教授いただき、それが現在の職業となっております。資格取得後も接骨院・整形外科に勤務しながらスポーツに関わることはできないかと考えていたところ、サッカーが「縁」で当時の各務原高校サッカー部監督の林幹二先生からお声がけいただきトレーナーとして活動するようになりました。それを機にFC岐阜や各種目の部活動等にトレーナーとして呼んでいただけるようになり、時間の許す限り現場に出向きがむしゃらに過ごした20余年でしたが、その姿を見ていた選手たちが後進となりトレーナーとして活躍していることが何よりの喜びです。

現在は、整形外科で勤務しながら娘が結んでくれたバレーボールという「縁」でV2リーグ所属のJAぎふリオレーナでのトレーナー活動と大学の非常勤講師、夜は自宅にてスポーツなどで身体にトラブルを抱えた方々の相談に乗るという日々を送っております。表立った仕事ではありませんが、医療とスポーツを結ぶ「縁」の下の力持ちとして身体の続く限り今後も活動していきたいと思います。

〝色よりも香りに生きる花もある〟精神を胸に。

開拓者の気概でこれからも

串田　茂（41期）

卒業してからも、野球部に所属していた私は、岐阜県高校野球OB大会に、長良高校の選手として参加させていただいていることから、校歌を毎年歌っています。

「我らは知れり　常に学べり
世界の道の　新たなるを」

校歌（校訓）にもある開拓者魂を在学中はあまり意識したことがありませんでした。しかし、大学を卒業し、岐阜県の公立小・中学校の教員になってからは、開拓者の気概で働いてきました。特に、大学卒業後、初任者として郡上郡八幡町（現郡上市）の小学校教員となり、野球部だった私は、体育科の学習で野球型のゲームを開発し、「ソフトバットベース」と名付け、研究会で発表しました。今でこそ、ベースボール型ゲームとして、体育科の学習に位置付いていますが、当時は先行実践が少なく、新しいゲームの開発に躍起になったことを覚えています。新たなる世界を求め、自ら学び続ける開拓者としての喜びを味わったこの八幡町での三年間が、今の教員としての生き方（人生）の礎となり現在に至っております。

長良高校の三年時には、大学入試センター試験が開始され、私たちは第一回目の受験生になりました。そして、今年は最後のセンター試験となりましたが、息子が受験生となりました。三十年の月日の経過の長さを感じますが、今回同窓会総会・懇親会を運営するに当たり、四十一期生の仲間と再会し思い出を語り合う中で、三十年があっという間に縮まり、（気持ちだけですが）若さを取り戻すことができたように感じます。人生百年時代の後半をリフレッシュしてスタートさせていただく機会になったことに感謝します。

同窓生だより

同級生との再会に寄せて

知念 亜希（旧姓 長谷川）（41期）

　平成の時代を飛び越え、三十年ぶりに顔を合わせた同級生。はじめこそ気恥ずかしさもありましたが、あっという間に打ち解け合い、「長良高校」という共通点がこんなにも深いものなのだと知りました。同級生との会話では記憶の断片がパズルのように繋がって、高校時代の記憶がよみがえります。楽しかった思い出、つらかった出来事、がんばった経験。ときを経て、それらがすべて自分の糧となって、今に繋がっていることに気づかされました。

　私はいま、子どもたちが、将来の夢を描く活動に携わっています。日本全国の小学生から大学生に向けて「ドリームマップ授業」を行っています。一日をかけて将来の夢について考えていく時間です。自分を見つめるところから始め、好きなもの、好きなことの先に、やりたいことや夢を見つけていきます。この活動を通じて、子どもたちだけではなく、いくつになっても夢や目標を持つことの大切さを感じています。

　私はこの「ドリームマップ」が大好きです。ライフワークとしてこれからも続けていくつもりです。やりたいことができる環境に、そして家族や周りの人たちに感謝しながらしあわせな毎日を過ごしています。

　高校時代、毎日のように目にしていた金華山と長良川。帰省の際に見るこの風景が、同窓会を機にさらに愛おしく感じられるようになりました。そして同級生がそれぞれの道でがんばっている姿を応援し合える仲間であることに心強さを感じています。

われらは立てり、更に進まん

坂口 喜朗（41期）

　高校時代といえば、所属していた陸上部の仲間とグラウンドで走ったり、ウェートトレーニングを行っていた事を思い出します。私の専門競技はやり投げで、他の部活動が終わり、グラウンドに空きが出るのを待って投げ込んでいました。部活動を一生懸命取り組んできたつもりですが、最後の高校総体県予選は、どうしても助走がしっくりこなくて、ラインを踏んでしまい、記録なしのファールで終わるという最悪の結末で、悔しくて、悔しくて、悔しくて、その日の夜、自然と涙が流れてきたのを思い出します。私はその日まで、ほとんど部活動しか行ってこなかったので、どうしても結果が欲しかったのと、陸上部は、代々、高校総体東海大会には出場者を輩出しており、私たちの代で途切れる訳にはいかなかったからです。本当に先輩方には申し訳ない気持ちでいっぱいでした。こういった結果で、うまく踏ん切りがつかず、もやもやした気持ちとぽっかり穴が開いたような気持ちで、全く勉強をする事が出来なかったです。その1ヶ月後くらいにある県選手権に出場すれば良かったとずっと思っていました。今となっては、しっかり気持ちを切り替えて、一生懸命勉強すれば良かったと後悔しております。

　当時の私には、この挫折を乗り越える事は出来ませんでしたが、現在、各務原市で『Nageyari』という名前で、らーめん店を営んでおりますが、あの時の思いを少しでもしないように、日々心がけて営業しております。

同窓生だより

喜寿を過ぎて想うこと

杉山 隆敏（11期）

私は昭和三十五年卒。前年九月は伊勢湾台風が襲来し、長良川畔の実家は床上浸水と強風被害に遭いました。この日は三年時の前期期末試験の最終日、翌日から数日は復旧作業に追われて、試験の結果は上の空でした。

あれから六十年余、昨年は甚大な風水被害が全国に亘ったことで、心痛む「喜寿」となりました。

小中高とも徒歩通学。頭上に金華山、足元には長良川と自然を友にしていた日々でした。

部活は柔道部。練習では夏は滴り落ちる汗で畳を濡らし、寒稽古の朝は畳の隅が凍っているかのよう。当時は今のような立派な体育館はなく、旧校舎の講堂の一部で活動していました。

三年時の部の仲間は十五～六人。何度も襟を取り合った相手は現在数名となりましたが、柔道着の感触は忘れられません。

十一期生の同窓会は約五年ごとに開催（最近は一昨年の喜寿記念）、飲み会仲間や女性グループなどハイシニアの交流は盛んです。

私は定年後地域のシニアクラブに参加。そこでのボランティア活動などを通じ、少しばかり感じたのは「感謝の心」です。

この歳になって思ったのは、人生には「第三の人生」迄有るということです。第一は親の脛かじりの時期。二番目は独立し家庭を持った時代。最後は経済的、身体的に社会に頼る世代。なかでも第一の時代、親に感謝は勿論ですが、八十年近い人生を支えてくれ、身体や精神、友情の基を培ってくれた高校時代に感謝です。

創立六十・七十周年記念式典に招かれた折、校門を入るとすぐに、先生や在校生諸君が親切に応対してくれた姿に心が動かされました。「友情深し長良高精神」が増々深まることを確信した次第です。

麒麟を呼ぼう

林　宏優（21期）

長良高校を卒業してから早半世紀、今は山県市長をしています。高校時代、周りには勉学に励む者、部活に励む者、中には恋愛に励む（？）もいましたが、私は何となく高校生活を送っていたような気がします。

卒業後、地元の高富町役場に奉職しました。宅地化が進む地域の中で、先祖が遺してくれた農地は割と広く、公務の傍ら農作業にも勤しみました。無論、公務の高邁な理念を持たないわけではないものの、組織の中では自分の思いをそのまま実践できるわけではありません。その点、米や野菜は、真心を込めた分、確実に出来の善し悪しに反映しますので、農作業の方にやりがいを感じてもいました。

平成十五年、新設合併により山県市職員となり、奉職後四十年目のとき、当時の市長から寝耳に水の言葉をかけられました。次期市長に推薦するというのです。生まれてから、そんなことは露ほどにも思ったことはありませんでした。当に青天の霹靂です。心の準備もままならないうち、周りの後押しもあり、定年前に退職し、市長選挙に臨みました。選挙は三つ巴の厳しい戦いでしたが、当選することができ、その後二回は無投票で、現在三期目を務めています。

今、大河ドラマ「麒麟がくる」では、美濃地域が舞台の中心となっていますが、私は立場上、当時の戦より、藩民の暮らしに興味もって見ています。麒麟は、仁のある君主の誕生時に姿を現す聖獣です。私は、伝統あるこの地域で学んだことを誇りに、近隣自治体の首長と手を組み、日々麒麟を呼ぶことに精進している日々です。

同窓生だより

野球応援が繋いだ絆

杉本　あい（51期）

　私は今、この原稿を長良公園のベンチから元気に遊ぶ娘たちと、母校の体育館を眺めながら書いています。かつての体育館裏の風景を思い浮かべながら。

　吹奏楽部に入部した私は、トランペットパートに所属し、この体育館裏で毎日楽器に息を吹き込みました。楽器初心者のわたしにとって、最初の目標は、野球応援の曲が吹けるようになることでした。音が出せるようになり、初めて楽譜をいただけた時の嬉しさは忘れられません。

　夏の甲子園予選大会では、選手ごとのテーマ曲を、応援の気持ちを込めて演奏しました。トランペットは、ヒットを打ったタイミングで、素早くヒットの曲に切り替える役割もあるので、楽譜と指揮と試合の行方を気にしながらの演奏になります。

　夏のスタンドは、暑さとの戦いでした。壊れやすい木管楽器や打楽器は、タオルで日陰を作りながら演奏をし、金管楽器は、氷水にマウスピースを浸し、冷やしながら演奏しました。氷水を差し入れてくれる野球部の女子マネージャーは、女神のようでした。

　高二で経験した決勝戦の応援は、感動でいっぱいでした。最終回には、暑さも疲れも忘れ、校歌や金華の峰がとても好きになり、長良高生としての自信も生まれ、吹奏楽部員同士の絆も強くなったように思います。

　卒業後も、ずっと楽器を続けたいと思ったのは、野球応援で感じた絆や一体感が忘れられないからかもしれません。現在も二つの団体に所属し、吹奏楽やＪＡＺＺの演奏を楽しんでおり、四十期の山口香幸さんともご一緒させていただいています。これからも、仲間との絆を大切に、家族の協力に感謝して活動していきたいです。

部活での悔しい気持ちをばねに

大坪　良誠（61期）

　高校を卒業してからはや十年が経ちます。

　私は、高校三年間を野球生活に捧げ、野球部での経験が人生の糧となりました。三年間の野球生活の中で特に心に残っていることは、やはり「夏大会」です。

　三年生、最後の夏大会の結果はベスト８でしたが、私は一試合も試合に出ることが出来ませんでした。二年生では出場させてもらえましたが、三年生では出場出来ませんでした。「二年生で出れたから三年生でも出れるだろう」といった気の緩みや謎の自信から練習をさぼることもありました。その結果、チームの力になることも出来ず高校野球生活を終えました。当時、本当に後悔をし、その時味わった後悔の気持ちは今でも鮮明に覚えています。この経験以降、何かやると決めた時には計画を綿密に立て、決めた目標は必ず遂げれるよう妥協せずに努力してきました。今となっては、当時の苦い思い出も良い経験だったと思っています。

　社会人となった今、転職も経験しましたが、毎日目標を立て、前向きに仕事ができていることは、高校野球の経験があってこそだと思っています。

　在校生のみなさんも何かしら後悔した経験はあると思います。そこで腐らず、どう考えるかが重要です。問題意識を持ち、前向きに取り組めば、必ず良い結果に繋がると思います。

　長良高校ＯＢとして皆さんに負けないよう私も頑張りますのでみなさんも頑張ってください。

学園だより

一歩ずつ

同志社大学　法学部法律学科
佐藤 大翔（71 期）

　私は、高校三年間水泳部に所属し、毎日きつい練習を乗り越えてきました。元々私は、喘息もちだったので体を強くするために水泳を始めました。中学で初めて全国大会に出場し高校ではもっと活躍してやるという意気込みをもって入学しました。しかし、高校に入ってからは思うように行かない日々が続きました。大事な大会のリレーの引き継ぎを失敗したり、ベストが夏のシーズンに一回も出ませんでした。悔しくて悔しくて毎日、どうすれば速くなるかを考えました。生活習慣の見直しや人との関わり方など一から自分を変えていくことにしました。中でも一番変えたのは練習方法です。それまでは今日のメインはこの辺りにあるからそれ以外は多少抑えてやろうという考え方でした。しかし、それではいけないと感じ、目の前にあるメニュー一つに集中して練習をするようにしました。今を頑張れない人に未来のことなど考えられるわけがないと思いました。この意識の変化はその後の私の水泳人生に大きな影響をもたらしました。一歩ずつ課題を乗り越えていくことで特定の所だけ頑張るのではなく、常に全力を尽くし練習できるようになりました。一年後二年生になった私は、目標であった全国大会に出場することができ、そのうち一つの大会では入賞することができました。三年生では目標としていた表彰台に乗ることはできませんでしたが、岐阜県代表選手として国民体育大会に出場するという経験もできました。

　水泳を通して多くの人と出会い支えてもらいました。今の自分があるのは一緒に練習した仲間、指導してくださったコーチ、先生、そして何より親のおかげだと思います。今後も感謝の気持ちを忘れず「一歩ずつ」目の前の事に対し全力を尽くしていきます。

閉　幕

名古屋大学　文学部
鷲見 安樹（71 期）

　高校三年間、私の生活の中心は常に演劇でした。はじめはなんとなく入った部活でしたが、いつの間にか私にとって演劇は何よりも大切なものになっていました。

　私たちは、二〇一九年七月に全国大会に出場しました。中部大会を終えてからの七ヶ月間、装置の美しさや強度、役者の表現力、部員一人一人の責任感などレベルを上げなくてはいけないことは山積みで、毎日が挫折の連続でした。私たちはただ劇のクオリティを求めるだけではなく、人として成長することも大切にしてきました。三年という期限のある高校演劇だからこそ、先輩に教わり後輩を育て、思いをつないでいくことの難しさを知り、何度も挫折し壁にぶつかりながらも、少しずつでも成長していくことのよろこびを感じることができたのだと思います。立つ舞台が大きくなるにつれてその壁は高くなり、私自身も部活とともに成長していくことができました。

　大好きな演劇で全国大会の舞台に立てたことは、一生忘れられない素敵な経験です。演劇を通して出逢えた全ての方々、応援してくださった先生方、友達、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。そして誰より、一緒に演劇をしてきた部員のみんな、顧問の先生方。何のとりえもなかった私に、たくさんの人生を生きさせてくれて、劇の演出をさせてくれて、私を演劇部の部長にしてくれて、本当にありがとうございました。

関東支部

同窓生だより

数学と感謝、そして新たな決意

徳田 誠志（31期）

卒業から四〇年を経た今、高校生活を振り返り、還暦が近づいてきている自らに、改めて言い聞かせたいことを綴っていこう。

一九七七年四月、長良高校に入学した。担任は小森東雄（はるお）先生であり、担当教科は数学であった。二年生となり文系か理系か、国立か私立かの進路を決める時がやってきた。我われの学年は大学共通一次試験がスタートしてから二期目の学年であり、五教科七科目を勉強し、この試験を受けることが優秀な生徒とされた。そんな学校の風潮に、妙に反抗心が沸いた。私は「私立大学である関西大学に進学し、考古学を勉強したい。よって、受験科目に無い数学は一切勉強しない。」と小森先生に宣言し、教科書さえ見なかった。先生は、私の考えを聞いてくれた。そして、否定はしなかった。むしろ私の決断を勇気づけてくれた。しかし、今でも忘れない先生の一言がある。

「徳田、数学は勉強しておけ。いつか役に立つ日が来るから。」

それから四〇年にわたる人生の中で、「微分・積分」が必要な場面は一切なかった。ましてや「解の公式」なぞ、目にしたこともない。「小森先生、数学なんか役に立つ日は来なかったですよ…。」

しかし、である。この年齢になって自分には「数学的思考能力」がないことをつくづく思い知らされている。さあ、どうする。今から数学を勉強するか…不可能。それでは数学を勉強しなかったことを後悔しているか、…否。希望通りに進学し、学んだことを職業とすることができた。四〇年前の選択は間違っていなかった、はずである。

最後に先生との会話を思い出しつつ、これからの決意を記しておきたい。

「小森先生、先生のご助言には、今さらながら感謝しております。今後の人生においても、さまざまな選択を迫られることがあるかと思います。その際には先生の言葉を思い出すとともに、校訓である「開拓者魂」をもって対峙していきたいと思います。」

関東支部のコーナー

関東在住の皆さん、全員集合！

11月23日（祝）は関東支部同窓会の日

支部長 伊藤 照夫（19期）
総務幹事 伊藤ひろ子（19期）

元号が令和になってから初めての関東支部同窓会は、昨年も十一月二十三日（祝）に東京銀座で開催されました。今回で十四回目ですが、七回までは隔年で開催されていましたから関東支部の歴史は、二十年以上になります。毎年の開催によって、馴染みの顔が増え、同窓の絆が深まっていることが感じられます。特に、話が弾んだ終盤に繰り広げられる校歌斉唱では、心が一つになって大声で「仰げば金華山……」を熱唱し、宴のクライマックスに達します。多感な時期を過ごした高校の同窓という仲間意識によって開放的な空気が流れます。

ここで同窓会の様子を少し紹介しましょう。参加者が五〇～六〇人位であることから全員参加型の同窓会です。全員によるショートスピーチが繰り広げられます。全日本大学野球選手権で優勝の立役者となった若き同窓生、「前回の東京オリンピックに出場しました」と話されて場内の騒めきを誘った女性の先輩、海に縁がない岐阜県の出身でありながら太平洋戦争の戦艦に詳しくTV番組製作に協力したことを語られた大先輩など変化に富んでいます。参加者は、俳優、音楽家、ツーリスト、IT関連業の方々など多彩です。演劇やコンサートでの活躍に接するのも頼もしいものです。頼もしいと言えば、母校の校長先生が同窓生であることです。校長先生のスクリーンに映る映像による熱のこもった長良高校の今の説明が聴かれます。また、同窓会会長から同窓会の歴史を交えた軽快な話題も参加者の心を惹き付けます。

十一月二十三日は、いつも予定に入れて下さい。

昨年度 創立70周年記念同窓会総会・懇親会

ありがとうございました

昨年度実行委員長
山門　豊（40期）

令和元年度長良高校同窓会総会・懇親会が六月十六日（日）に岐阜グランドホテルにて開催されました。メインホストとして我々四十期が担当させていただき、今回も五〇〇名を超える皆様にご参加賜り、本当にありがとうございました。

　また、同窓会常任幹事の方々、サブホストの三十九期・四十一期、そして各期の幹事の皆様、校長先生をはじめ諸先生方の心強いご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

　今回の懇親会のテーマは、「平成から令和につながる長良愛」とさせていただきました。令和元年、ならびに長良高校創立七〇周年という節目の年に、母校の古き良き伝統、愛する想いを先輩方から引き継ぎ、そして次の世代へと繋いでいきたい…との想いで実行委員全員で決めました。

　アトラクションも、我々の企画を先輩方からアドバイス・ご指導いただき、盛り上げる事ができました。そして、なんと言ってもこの懇親会の為に一年間取り組んだ準備の過程で関わった全ての人達との絆は…我々の一生の宝物となりました。

　来期以降も、メインホストは後輩に譲りますが、恩返しをするつもりで、微力ながら長良高同窓会の発展に寄与していきたいと思います。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

ムンテルコールさんによるコーラス

川鰭祐子(同窓生)さんジャズライブ

40期恩師の方々

応援団パフォーマンス・校歌斉唱

懇談会風景

Jリーガー誕生!!

J1サンフィレッチェ広島に入団内定

写真提供:立命館大学

藤井智也（68期）

サッカー部ＯＢの藤井智也さん（68期・立命館大学4年）がＪ1サンフィレッチェ広島に2021年シーズンからの加入が内定しました。

高校時代は、ＦＷとして、Ｇ1リーグや選手権大会において、圧倒的なスピードと卓越したテクニックをいかして得点を量産しました。またキャプテンとしてチームを引っ張り、中心選手として活躍しました。

朝練習を自主的に毎日行う努力家で、日々の取り組みにより、高校三年間で急激に力を伸ばしました。

文武両道を果たすべく、勉学にも全力で取り組み、チームスローガンである「文武不岐～今をやりきる！」を体現した選手でした。

大学進学後は、入学直後からＡチームで出場機会を獲得し、二年時には不動の座を掴むと、三年時は関西学生サッカーリーグで14アシストを記録し、アシスト王とベストイレブンを受賞。七月の天皇杯で横浜Ｆ・マリノスの守備陣を翻弄して同点弾を演出し、その名を全国に轟かせ、名実ともに大学サッカー界屈指のサイドアタッカーとなりました。

多くのＪクラブからオファーがありましたが、サンフィレッチェ広島への加入を決めました。

今年は大学四年ですが、特別指定選手としてＪリーグの舞台を経験する可能性もあるそうです。

記者からのインタビューでは、「エディオンスタジアムに入った際に、スタジアム全体が奇麗に紫に染まっているのに目を奪われた。街もちょっと田舎でアットホーム感があるのが凄く好きで、地元の岐阜に似た雰囲気を感じた」「自分のプレーを出して、より多くの人に藤井智也という名前を知らしめたい」と意気込みを話されたそうです。

藤井さんの活躍が楽しみですね。皆様のご声援よろしくお願いいたします。

高校時代

300名が集う!!

長球会カンファレンス盛大に開催

長球会副会長
実行委員長　竹市召一（26期）

長球会（野球部ＯＢ会）は、本年一月三日、七十周年記念事業として「長球会カンファレンス2020」を開催しました。

第一部は「長良高校は甲子園に行く！」をテーマに、岐阜放送野球解説の福井雅一（28期）さんがコーディネーターを務め、元監督元校長の鈴木賢治（26期）さんをはじめとするパネラー五名によるパネルディスカッションを実施。長良ならではの伝統や持ち味、県立普通科高校であるが故に抱える課題、どうしたら戦うチーム作りが出来るのか等を徹底的に討論しました。最後には、ＯＢの熱い思いを汲み取っての三輪現監督（30期）による決意表明にて締め括りました。

第二部は懇親会。参加者は八期から七十期まで三〇五名、グランヴェールの大宴会場に溢れんばかりのＯＢの顔・顔・顔。企画として、過去の夏の大会、思い出の名勝負をビデオ映像にて流し感激の再現や、現在社会人野球や大学野球で活躍する選手の紹介等々、縦横の繋がりや長良ＯＢとしての誇りを感じられる時間を過ごしました。

締めの校歌斉唱は、元気いっぱい桜井鷹行（55期）さんのリードにより、全員肩を組んで大合唱！会場の心が一つになったところで、感極まった安藤栄司（29期）さんが壇上へ。シナリオには無かった二度目の校歌斉唱が響き渡りました。

私達が出場した昭和四十九年選抜大会から遠ざかっている甲子園。約千名の会員全員の夢、この日集まった三〇五名の悲願、必ずや、次の八十周年までに甲子園に校歌が響き渡るものと確信した熱い夜でした。

創立70周年記念事業の御礼

創立70周年記念事業に際しまして、会員の皆様には多大なるご支援ご協力を賜り、無事記念事業を終えることが出来ました。誠にありがとうございました。実行委員一同心より感謝申し上げます。

実行委員長	辻　慶一	（24期）	委員	佐橋　晶子	（25期）	委員	榎本　尚浩	（38期）
副委員長	長屋　史朗	（26期）		安田　啓司	（27期）		石神　修司	（38期）
	安藤　剛	（30期）		村瀬　克彦	（29期）		石原　泰享	（38期）
相談役	福田　久雄	（2期）		安藤　芳枝	（32期）		有田　誠二	（39期）
事務局	伊藤ひろ子	（19期）		後藤　慎二	（34期）		山田　尚美	（46期）
	安藤　清貴	（24期）		笹路　信子	（35期）			
会計	永田　直美	（33期）		稲葉　孝治	（37期）			
	清水　直子	（36期）		山路　佳孝	（37期）			

令和元年度　部活動実績一覧

祝

- 全国高等学校陸上競技選抜大会　陸上競技部(600m)出場
- 全国高等学校総合体育大会　水泳部(200mバタフライ・100m平泳ぎ)出場
- 国民体育大会　水泳部(200mバタフライ)出場
- NHK杯全国放送コンテスト　放送部(朗読部門)　出場
- 全国書道展　書道部　大学賞、国際高校生選抜書展(臨書)入選
- 全国高等学校演劇大会　演劇部　舞台美術賞
- 全国総合文化祭　文芸部(詩部門)出場

《運　動　系》

【サッカー】			
◆県高校総体			ベスト8
◆高校選手権			ベスト8
◆県高校新人			準優勝
【陸上競技】			
◆県高校総体	男子	400m	6位
		1500m	6位
		4×400mR	7位
		円盤投	7位
		8種競技	7位
	女子	400m	8位
		4×100mR	2位
		4×400mR	4位
		走幅跳	4位・8位
		三段跳	1位
		総合	6位
●東海高校総体	女子	三段跳	8位
			県6位入賞者出場
◆県選手権	男子	4×400m	5位
		走高跳	8位
	女子	4×100mR	5位
		三段跳	6位
★全国高校選抜大会	男子	600m	出場
●東海選手権			県8位入賞者出場
◆県高校新人	男子	400m	4位
		4×400mR	8位
		走高跳	7位
		走幅跳	6位
		三段跳	6・8位
		やり投	8位
	女子	200m	7位
		400mH	6位
		4×100mR	6位
		4×400mR	3位
		走幅跳	2位・3位
		三段跳	1位
		女子総合	7位
		女子フィールド	5位
●東海高校新人	女子	三段跳	1位
			県6位入賞者出場
【ハンドボール男子】			
◆県高校新人			4位
【ハンドボール女子】			
◆県高校総体			ベスト8
◆県選手権			ベスト8
【ソフトテニス男子】			
◆県高校新人		団体	3位
【柔道】			
◆県高校総体	女子	個人(57kg)	3位
【剣道】			
◆県高校剣道大会		団体	ベスト8
【バレーボール男子】			
◆県高校総体			ベスト8
◆全日本選手権県予選			ベスト8
◆県高校新人			ベスト8
【バレーボール女子】			
◆県高校新人			ベスト8
【バドミントン】			
◆県高校総体	男子	団体	ベスト8
	女子	団体	ベスト8
		ダブルス	3位
◆県選手権	男子	シングルス	ベスト8
	女子	シングルス	ベスト8
◆県高校新人	男子	団体	2位
		ダブルス	ベスト8
	女子	団体	ベスト8
		ダブルス	ベスト8
●東海選抜大会　出場予定（1月）			

【卓球】			
◆県高校生大会	女子	団体	3位
●東海卓球選手権	男子	個人	3名出場
	女子	個人	5名出場
◆県新人大会	女子	団体	5位
●東海選抜大会	女子	団体	出場
【その他】空手道			
◆県高校総体	男子	個人形	3位
●東海高校総体			出場
◆県高校新人	男子	個人形	2位
●東海大会			出場
【水泳】			
◆県高校総体	男子	100m背泳ぎ	4位
		200m背泳ぎ	2位
		100m平泳ぎ	8位
		200m平泳ぎ	7位
		100mバタフライ	3位
		200mバタフライ	2位
		4×100mフリーリレー	6位
		4×200mフリーリレー	4位
		4×100mメドレーリレー	4位
		総合	5位
	女子	100m背泳ぎ	4位・7位
		200m背泳ぎ	3位
		100m平泳ぎ	1位・2位
		200m平泳ぎ	1位・3位・4位
		200m個人メドレー	5位
		4×100mフリーリレー	6位
		4×200mフリーリレー	5位
		4×100mメドレーリレー	3位
		総合	3位
●東海高校総体	男子	200mバタフライ	6位
		9種目	出場
	女子	100m平泳ぎ	8位
		8種目	出場
★全国高校総体	男子	200mバタフライ	出場
	女子	100m平泳ぎ	出場
★国民体育大会	男子	200mバタフライ	出場
◆県選手権	男子	50m背泳ぎ	2位
		100m背泳ぎ	4位
		200m背泳ぎ	4位
		50m平泳ぎ	8位
		100mバタフライ	2位
		200mバタフライ	2位
	女子	50m背泳ぎ	7位
		100m背泳ぎ	7位
		200m背泳ぎ	7位
		50m平泳ぎ	2位・3位
		100m平泳ぎ	3位・5位
		200m平泳ぎ	5位

【水泳】			
◆県高校新人	男子	50m自由形	5位
		100m背泳ぎ	3位
		200m背泳ぎ	2位
		100m平泳ぎ	6位
		100mバタフライ	6位・8位
		4×100mフリーリレー	6位
		4×100mメドレーリレー	4位
		総合	6位
	女子	100m背泳ぎ	5位
		200m背泳ぎ	6位
		100m平泳ぎ	1位・2位
		200m平泳ぎ	1位・3位・5位
		200m個人メドレー	5位
		4×100mフリーリレー	5位
		4×100mメドレーリレー	4位
		総合	5位

《文　化　系》

【放送】		
◆県高校放送コンテスト	朗読部門	2位
★NHK杯全国放送コンテスト	朗読部門	出場
◆県高校放送コンテスト新人	朗読部門	4位
	アナウンス部門	6位
【コーラス】		
◆県合唱コンクール		金賞・県教育委員会賞
●中部合唱コンクール		出場
【書道】		
◆県総合文化祭書道展	個人作品部門	最優秀賞
		R2年度全国総文出場
★全国書道展		大学賞
★国際高校生選抜書展	臨書	入選
◆各務原市高校生美術展	個人作品部門	優秀賞
【演劇】		
★全国高校演劇大会		舞台美術賞・優秀賞
◆県高校演劇大会		2位
●中部高校演劇大会		出場
【写真・科学】		
◆県高校写真コンテスト		激励賞
【文芸】		
◆ぎふ清流レクリエーションフェスティバル(かるた)	個人	3位
★全国総合文化祭	詩部門	出場
●県文芸コンクール	俳句部門	3位
		R2年度全国総文出場
【英会話部】		
◆県高校生英語ディベート大会		3位
	ベストディベーター賞	1位・4位

団体：県大会ベスト8以上　個人：8位以上
(平成31年4月～令和2年2月13日まで)
★全国大会　●東海大会　◆県大会

部活動激励費授与式

今年度も、令和元年十月十六日(水)に、澤田会長から小椋校長に令和元年度部活動激励費三十万円の目録が手渡されました。

全国大会に出場した生徒だけでなく、幅広く部活動の活性化のために有効活用して頂き、一人でも多くの生徒が、様々な大会で活躍されますことを心より祈念いたしております。

令和元年度入試　大学・短大・専門学校等合格状況

＜国立大学＞

大学名	学部	合格者数 現役	既卒	合計
北見工大	工	1		1
室蘭工大	理工	3	1	4
山形大	農	1	1	2
宇都宮大	国際	1		1
上越教育大	学校教育	1		1
富山大	人文	1		1
	経済	2		2
	経済夜	1		1
	理	2		2
	都市デザ	1		1
金沢大	理工学域	1		1
福井大	教育		1	1
	工	4		4
山梨大	工		1	1
岐阜大	教育	8	2	10
	地域科学	2		2
	工	10		10
	医	1		1
静岡大	人文社会	1	1	2
	情報	1		1
愛知教育大	教育	7		7
名古屋大	文	1		1
名古屋工大	工	2		2
滋賀大	経済		1	1
	データサ	1		1
滋賀医大	医	1		1
京都大	農	1		1
鳥取大	農	1		1
島根大	生物資源		1	1
山口大	工	1		1
香川大	創造工		1	1
鳴門教育大	学校教育	1		1
大分大	経済	2		2
合計		60	10	70

＜公立大学＞

大学名	学部	合格者数 現役	既卒	合計
釧路公立大	経済		1	1
秋田県立大	システム	2		2
前橋工科大	工	1		1
高崎経大	地域政策	2		2
	経済	1	1	2
東京都立大	理	1		1
横浜市立大	国際教養	1		1
新潟県立大	国際経済	1		1
	国際地域	1		1
富山県立大	工	2		2
	看護	1		1
公立小松大	国際文化	1		1
	保健医療	1		1
敦賀市立看護大	看護	1		1
福井県立大	看護福祉	1		1
都留文科大	文	3	1	4
	教養	1		1
長野大	企業情報	2		2
	環境ツー	2		2
長野県立大	グローバ	2		2
諏訪東京理大	工	2	1	3
岐阜県立看護大	看護	7		7
静岡文化芸大	文化政策	1		1
	デザイン	1		1
静岡県立大	経営情報	2		2
	国際関係	1		1
愛知県立大	日本文化	1		1
	外国語	1		1
愛知県立大	看護	1		1
名古屋市立大	経済	1		1
滋賀県立大	人間文化	1		1
	環境科学	2		2
福知山公立大	地域経営	2		2
	情報	1		1
京都府立大	文	1		1
大阪市立大	文		1	1
兵庫県立大	環境人間	1		1
神戸市外大	外国語	1		1
奈良県立大	地域創造	1		1
公立鳥取環境大	経営	1		1
島根県立大	看護栄養	1		1
県立広島大	生物資源	1		1
福山市立大	都市経営	1		1
下関市立大	経済	2		2
香川保健医療大	保健医療	1		1
高知工科大	シスエ	2		2
北九州市立大	経済	1		1
名桜大	国際	2		2
	人間健康	1		1
合計		68	5	73

国公立大学 合計143名	合格者数 現役	既卒	合計
	128	15	143

＜私立大学＞

大学名	合格者数 現役	既卒	合計
北海道科学大	2		2
北海道情報大	1		1
千葉工大		1	1
ものつくり大	1		1
東洋学園大	1		1
亜細亜大	2		2
北里大	1	1	2
国学院大	1		1
国士舘大	1		1
駒澤大	2		2
実践女子大	2		2
専修大	4		4
創価大	3		3
中央大	1	1	2
帝京大	1		1
東海大	3		3
東京工科大	1		1
東京電機大	2	1	3
東京農大	1		1
東京理大	1		1
東洋大	4	2	6
日本大	1	1	2
日本体育大	1		1
文化学園大	1		1
法政大	2	2	4
東京都市大		1	1
明治大	1	1	2
明治学院大		1	1
立教大	2		2
東京富士大	1		1
国際ファッ職大	2		2
神奈川大	1		1
金沢工大	2	4	6
北陸大	1		1
福井工大	1	3	4
朝日大	20		20

＜私立大学＞

大学名	合格者数 現役	既卒	合計
岐阜協立大	4		4
岐阜女子大	6	1	7
岐阜聖徳学園大	47	4	51
東海学院大	3		3
中部学院大	14	6	20
岐阜医療科学大	28		28
静岡理工科大	2		2
愛知大	33	5	38
愛知医大	5		5
愛知学院大	40		40
愛知工業大	21	2	23
愛知淑徳大	20		20
金城学院大	20		20
椙山女学園大	17		17
大同大	15	2	17
中京大	69	9	78
至学館大	2		2
中部大	39	1	40
東海学園大	18		18
名古屋外大	9	1	10
名古屋学院大	25	1	26
名古屋芸大	3		3
名古屋商大	7		7
名古屋女子大	6		6
名古屋造形大	2		2
南山大	24	4	28
日本福祉大	15		15
藤田医大	4		4
名城大	59	4	63
愛知文教大	1		1
愛知工科大	3		3
人間環境大	1		1
名古屋学芸大	8		8
名古屋文理大		1	1
修文大	2		2
一宮研伸大	1		1
皇學館大	1		1
鈴鹿医療科学大	1		1
長浜バイオ大	2		2
京都外大	4		4
京都先端科学大		1	1
京都産業大	4	2	6
京都女子大	2		2
京都橘大	1		1
同志社大	5		5
同志社女子大	3		3
立命館大	13	1	14
龍谷大	5	1	6
大阪国際大	2		2
大阪体育大	1		1
関西大	1	5	6
近畿大		5	5
関西学院大		4	4
大和大	1		1
帝塚山大	1		1
奈良大	3		3
奈良学園大	2		2
川崎医療福祉大	1		1
九州産大		1	1
合計	697	80	777

4年制大学 合計920名	合格者数 現役	既卒	合計
	825	95	920

＜各種専門学校等＞

学校名	合格者数 現役	既卒	合計
大阪大歯附歯技	1		1
岐阜県立衛生専門学校	10		10
岐阜市立看護専門学校	4		4
京都医療附看助	1		1
名鉄看護専門学校	1		1
JA岐阜厚生連看護専門学校	1		1
名古屋観光専門学校	1		1
名古屋動物看護専門学校	1		1
HAL名古屋専門学校	2		2
東海工業専門学校	1		1
名古屋製菓専門学校	1		1
名古屋大原学園	2		2
中日美容専門学校	1		1
中日本航空専門学校	1		1
名古屋ビューティーアート専門学校	1		1
名古屋工学院	1		1
合計	30	0	30

＜国公立短期大学＞

短大名	合格者数 現役	既卒	合計
岐阜市立女短大	17		17
三重短大	2		2
合計	19	0	19

＜私立短期大学＞

短大名	合格者数 現役	既卒	合計
岐阜聖徳学園短大	3		3
平成医療短大	1		1
名古屋女子短大	5		5
合計	9	0	9

＜大学校＞

大学名	合格者数 現役	既卒	合計
トヨタ自動車大	1		1
東海職能大学校	2		2
農業大学校	1		1
	4	0	4

＜就職・その他＞

	合格者数 現役	既卒	合計
カナダ	1		1
中国	1		1
UCSI大学（マレーシア）	1		1
岐阜市消防本部	1		1
合計	4	0	4

＜進路先まとめ＞

進路先	現役	既卒	合計
国立大学	54	8	62
公立大学	55	2	57
私立大学	198	16	214
国公立短期大学	3		3
私立短期大学	6		6
専門学校	26		26
就職	1		1
浪人	13		13
その他（海外）	3		3
合計	359	26	385

令和元年度 会費納入状況

R2.2.29現在

期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	
1	8	11	92	21	50	31	18	41	35	51	2	61	2	
2	13	12	94	22	104	32	72	42	22	52	10	62	0	
3	34	13	54	23	45	33	81	43	3	53	4	63	3	
4	38	14	51	24	76	34	33	44	5	54	0	64	5	
5	67	15	74	25	83	35	43	45	13	55	4	65	5	
6	48	16	43	26	197	36	47	46	32	56	2	66	10	
7	38	17	87	27	58	37	53	47	4	57	3	67	18	
8	26	18	63	28	74	38	96	48	6	58	4	68	4	
9	80	19	56	29	71	39	117	49	3	59	5	69	9	合計
10	82	20	94	30	115	40	230	50	6	60	9	70	26	3059

会費納入のご協力をお願いします

●趣　旨

この「ながれ」は長良高校同窓生二万九千余名（住所不明者除く）に送付されています。その費用として毎年送料を含め三百万円程必要になります。

現在の納入状況では全員への送付が不可能になります。どうか、お一人千円以上の会費を納入してください。

●金　額

千円以上（一口千円を一口以上）でお願いします。

◆納入方法

「ながれ」に同封する郵便局の振込用紙にて納入して下さい。